

各位

積水化学工業株式会社

温室効果ガス削減の「1.5°C目標」で SBT 認証を新たに取得

積水化学工業株式会社(代表取締役社長:加藤敬太、以下「当社」)は、2022年10月、2030年の温室効果ガス(以下「GHG」)排出量削減の新たな目標を制定し、2023年3月、世界の平均気温上昇を産業革命前より1.5°Cに抑える科学的根拠に基づいた目標として SBT イニシアチブの認証を再取得しました。

※SBT (Science Based Targets): パリ協定の採択を契機として国連グローバルコンパクトをはじめとする共同イニシアチブが提唱。SBT イニシアチブにより、企業が定めた温室効果ガス削減目標が、長期的な気候変動対策に貢献する科学的に整合した目標 (SBT) であることが認定される。



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

当社グループは、気候変動は大きな社会課題であると同時に、当社グループにとって大きなリスクであると認識し、その解決に積極的に取り組んでいます。2018年、化学業界初となる SBT 認証を取得し、2022年10月、気候変動対策がさらに喫緊の社会課題となるなか、新たな GHG 排出量削減目標を制定しました。

■新たな GHG 排出量削減目標

	従来目標	更新目標	更新目標達成の手段
Scope1+2	基準年：2013年 目標年：2030年 削減率：26% (2°C目標)	基準年：2019年 目標年：2030年 (変更なし) 削減率：50% (1.5°C目標)	従来の購入電力の再エネ化に追加し、低炭素燃料へ転換、電化、生産革新による燃料由来 GHG削減の取組み前倒し
Scope3	基準年：2016年 目標年：2030年 削減率：27%	基準年：2019年 目標年：2030年 (変更なし) 削減率：30%	資源循環の取組み (非化石原料へ転換、再生材料の使用拡大、廃棄物の再資源化) を追加し、カテゴリ 1, 5, 12の削減を促進

当社グループは、長期ビジョン「Vision 2030」において、「Innovation for the Earth」をビジョンステートメントとして掲げ、イノベーションにより「サステナブルな社会の実現に向けて、LIFE の基盤を支え、“未来につづく安心”を創造していく」ことを宣言しています。これからも、持続可能な社会の実現と当社グループの成長の両立を目指して、気候変動などの社会課題の解決に貢献し、ステークホルダーの皆様信頼される企業であり続けるための取り組みを進めていきます。

(参考)

2030年温室効果ガス排出量削減の新たな目標を制定(2022年10月3日発表)

https://www.sekisui.co.jp/news/2022/1379614_40074.html

以上

<本件についてのお問い合わせ先>

積水化学工業株式会社 広報部

E-mail : kouhou@sekisui.com